

8 南児童館 ☎ (84) 3456
月 ・しゃぼん玉をとぼそう 8日(月)
の ・魚つりをしよう 18日(木)
行 ・カードゲームであそぼう
事 23日(火)
予
定



8 西児童館 ☎ (84) 2321
月 ・スライムで遊ぼう 9日(火)
の ・ゲーム大会
行 (母親クラブ主催) 20日(土)
事 ・夏祭り 24日(水)
予 ・避難訓練 30日(火)
定

にこにこ広場・身体測定 ～南児童館～



6月10日、南児童館では、「にこにこ広場」を開催し、身体測定(身長・体重)を行いました。まず、最初にお友達をリラックサさせるため、ママや職員もみなどで、「はとぼっぼ体操」を行いました。次に、童謡「ぞうさん」を歌ったり、絵本の読み聞かせの時間を過ごしました。しかし、いざ身体測定に入ると、大泣きしてママも職員も悪戦苦闘でした。このように元気いっぱい泣いている様子は、とてもほほえましくて「すくすく育て」と将来の成長が待ち遠しく大変楽しみです。

ドッジボール大会 ～西児童館～



6月13日、西児童館では、「ドッジボール大会」を開催しました。当日は天候不良のため、屋内(プレイルーム)において、15名ほどの参加で行いました。放課後の時間を利用しての開催のため、参加者はほとんどが小学生でしたが、高学年が先頭に立ってチームを編成し、ルールを守りながら楽しくプレイしました。このような児童館での遊びからつながりができ、仲間を作るいい機会となっています。なお、ドッジボール大会は、今後、3回の開催を予定しています。

思いやりの心で明るい社会を

生徒が本音で語り合い、
 楽しみに待つ授業づくり
 (五霞中学校 道徳教育の充実)



母国の文化としてピアスをしていた転校生とそれを注意しようとする同級生、「ルール」と異国文化理解の葛藤を

教師が全クラスの道徳を担当し、担任とT.T(ティーム・ティーチング)で授業をしています。生徒が本音で語り合い、自己の生き方についての考えや自覚を深められるような授業を目指しています。道徳の授業では、自分の考えを整理し、グループ討議を取り入れ、何でも言い合えるようにしています。複数の価値観の葛藤場面を設定した授業をすることで実生活に役立つようにしています。これまで行われた授業の一つをご紹介します。

五霞中学校では心豊かな生徒の育成を図るために、道徳教育を重視しています。中学校では、平成31年度から特別の教科「道徳」が完全実施されます。道徳教育推進

扱った授業です。ピアスを認めるか認めないかに焦点を当てて展開していきます。初めはルールと秩序という観点からピアスを認めないと主張していた生徒も転校生の国の文化を知ることによって生徒の心は揺れ動きます。

【ピアスを認める】この生徒はおしゃれでしているわけではない親の愛情としてしているのだから特別に認める。もし、自分が外国に行つて日本の文化を否定されたら嫌である。
 【ピアスを認めない】日本には日本のルール、学校には学校のルールがある。その学校の生徒になるからにはそのルールに従うべきである。

授業の最後は同様の体験を持つ二人の先生の話を聞きます。一方は日本の実情を保護者と話し合つてピアスを外してもらった例、他方は日本人の生徒に外国文化を理解してもらつたことでピアスを認めた例です。現実社会はさまざまな考え方の人たちとの共生社会です。生徒たちは正解の見えないこの社会を他者を思いやりながらも、よりよくたくましく生きていくために、どのような選択をしたらよいかを考え続けています。